

らんどお。そうしてその残った一本を消した途端に、どうなることかと皆がきもをつぶしてだまっていると、天井がぬけ、大穴があいたとみるまに大きなひびきがして、みんなが集まっている真ん中に、何かすごい勢いでころげ落ちたものがあつたらんどお。すわ化物か、幽霊かとおそるおそる一人がローソクをつけて、その物音の主をよく見ると、大きな鬼の首がころがり出たらんどお。渡辺の綱が切りとつた鬼の手を探しにやつてきたのかとよくよく見たら、その面は目がぎらぎらして角が生え、耳まで裂けた大きな口があいていて、歯が一本もなかつたらんどお。歯がないので話だつたらんどお。